

# 和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 146 号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2014 年 11 月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

2015 年 <b>1月31日(土)</b> 13 時～17 時	(開催予告) <b>緑と湧き水環境フォーラム・和光</b>	中央公民館集合ー白子湧水群自然と歴史見学会ー白子コミセン:小泉武栄先生の講演、和光湧水環境調査報告会
--	----------------------------------	--

## 2014 年 軽井沢白糸の滝から浅間山鬼押し出し研修会報告 (2014 年 10 月 30 日 (木))

抜けるような青空に恵まれた 10 月 30 日、朝早く集合し白子コミセンから乗車、上谷津で全員 36 名が乗り合わせ軽井沢に向け出発。高速外環から関越を通り、快晴の青い空にイロハモミジやオオモミジの紅葉をバスから眺めながら軽井沢の町中を通り抜け、目的地の白糸の滝に 10 時に到着。

**軽井沢白糸の滝**は 落差は 3 m 余り、幅は 70 m に及ぶ。地下水を源流とする潜流瀑であるため、白糸のように清水が流れ落ちることから命名されている。我々の「白子湧水群」は、武蔵野れき層の下に不透水層の粘土層があり、れき層との境から湧出す湧き水の仕組みと対比してみる事が出来ました。ここから「ゆっくり滝見学コース」と約 1 時間半のハイキングコース「信濃路自然歩道歩きコース」の 2 班に分かれて出発。峠の茶屋で合流しました。さわやかな晩秋の滝や森、軽井沢の自然の素晴らしさを満喫、自然歩道を歩き通したことは最高です。バスで鬼押し出しへ。



**浅間山の鬼押し出し**は、1783 年、浅間山噴火によって生まれた幅 3km、距離 12km にわたる溶岩の凝結地帯。世界 3 大奇勝の一つ。『浅間火山博物館』から鬼押し出し内の自然遊歩道は自然研究路になっていて、溶岩の中にカラマツの黄葉やナナカマドの赤い実が見られ、大自然の復元力を体感しました。

植物や自然環境に詳しい方々からいろいろなことを学べ、他団体との交流も楽しむ事が出来ました。多くの方のご参加有難うございました。

- 見られた種：チョウセンゴミシの真っ赤な実、食べると 5 つの味がするマユミの桃色の実、ナナカマドの赤い実の房
- 紅葉：自然歩道は黄色くなったカラマツ林、イロハモミジ、オオモミジ オシダがたおれて地面に伏せた状態になっている様子や、イワカガミが鏡のように葉が光る様子が印象的。

